

令和5年3月6日

福知山市議会議長 高橋 正樹 様

予算審査委員会委員長 芦田 眞弘

## 委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

### 記

#### 1 委員会付託議案

- ・議第121号「令和4年度福知山市一般会計補正予算（第8号）」

#### 2 審査の概要

2月28日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、橋りょう長寿命化対策事業について、「修繕設計する11橋の工事費見込みと、これまでの実績」を問う質疑があり、「工事費見込みについては、設計を終えていないことから算出することができない。全体計画として1巡目に1,081橋の点検を終え、判定3となった橋りょうについては、令和4年度に修繕設計を終え、令和5年度末に工事完了の予定である。今回の修繕設計については、2巡目の点検により判定3が出たものが対象となっている」との答弁がありました。

次に、送迎用バス等への安全装置導入関連事業について、「設置する安全装置の仕様」を問う質疑があり、「国が推奨する機器のリストが日々更新され、示されている状況であり、今後、よりよい機器を選定していきたい」との答弁がありました。

次に、学校情報機器保守管理事業について、「業務委託先の業者選定の状況と、毎年度の保守管理の必要性」を問う質疑があり、「専門的な内容を伴うことから、現在保守管理をお願いしている市内業者との随意契約を予定している。GIGAスクール環境における機器や通信ネットワークを安定的に稼働させるためには、ネットワーク専門業者による年間を通じた保守業務委託が必須である」との答弁がありました。

次に、小中学校施設環境改善事業について、「教職員用便所、特別教室便所の改修計画」を問う質疑があり、「他の工事との兼ね合いや、トイレが使用できない期間をできるだけ避けるため工期を長く設定していることから、1年間に小中学校1校ずつの改修で、令和3年度から令和12年度までの10年間の計画としている」との答弁がありました。

次に、K T R支援事業について、「整備する設備の内容と、点検整備の結果により金額に変更が生じた場合の対応」を問う質疑があり、「特急6両、普通4両の10車両のエンジン及び変速機のオーバーホールと車両の整備をするもので、整備を終え、額の確定がされたあと、実績に基づき補助金を支出するものである」との答弁がありました。

反対討論

なし

賛成討論

なし

### 3 審査結果

- ・議第121号 全員賛成で原案可決